

(別紙)

令和5年度障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	ネクスタス株式会社
法人名	ネクスタス株式会社
フリガナ	ネクスタス株式会社
事業所名	ネクステクノリンクス
提供サービス (複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
計画相談支援	
職員数 (常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出 (産休・育休、休職は除く)】	
2.2人	

(1) ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入後の定量的指標

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)			
サービス等利用計画	2人	20件	240件	120分	480時間	240時間
モニタリング報告書	2人	46件	552件	40分	368時間	184時間
情報共有・報告業務	2人	40件	480件	60分	480時間	240時間
		106件	1,272件	220分	1,328時間	664時間

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

サービス等利用計画 相談員数2人×利用者数10人=20件
モニタリング報告書 相談員数2人×利用者数23人=46件
情報共有・報告業務 相談員2人×就業日20日=40件

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

サービス等利用計画 自宅でアセスメントをして手書きでメモを記入し、事務所に戻りパソコンで記入。記入後にサービス等利用計画を作成するため時間を要する。
モニタリング報告書 自宅でモニタリングをして事務所に戻りパソコンで記入。記入した報告書を再度自宅まで持っていき署名をしていただくため時間を要する。
情報共有・報告業務 相談員の職業柄、外出することがほとんどで情報共有も事務所に戻ってからすることが多いため時間を要する。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)			
サービス等利用計画	2人	20件	240件	100分	400時間	200時間
モニタリング報告書	2人	46件	552件	30分	276時間	138時間
情報共有・報告業務	2人	40件	480件	40分	320時間	160時間
		106件	1,272件	170分	996時間	498時間

以下の※3及び※4については、ICT機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

サービス等利用計画 相談員数2人×利用者数10人=20件
モニタリング報告書 相談員数2人×利用者数23人=46件
情報共有・報告業務 相談員2人×就業日20日=40件

<※4>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

サービス等利用計画 手書きのメモではなく、データとしてメモすることによりスムーズに記入することができる。
モニタリング報告書 その場でモニタリングの内容を打ち込み事務所に戻らなくてもその場で署名をもらうことができる。
職員同士の情報共有 事務所から離れた場所でもipadで迅速に確認できることになる。

年間業務時間数削減率 (%)

25.0%

※作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
サービス等利用計画	20 ページ	240 ページ
モニタリング報告書	46 ページ	552 ページ
情報共有・報告業務	40 ページ	480 ページ
	106 ページ	1,272 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
サービス等利用計画	20 ページ	240 ページ
モニタリング報告書	46 ページ	552 ページ
情報共有・報告業務	40 ページ	480 ページ
	106 ページ	1,272 ページ

年間作成文書量削減率 (%)

0.0%

(2) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

- ・外出先から事業所に戻る移動時間の減少
- ・手書きのメモを入力せず直接打ち込むことができるため二度手間にならない

(3) ICT機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

予定の都合で事務所に戻らなくても職員同士の情報の共有がスムーズにできるようになった。
パソコンが苦手だったりipadを使ったことない職員もいたため、職員によってスキルのバラつきが見られ、処理速度に違いがあるのが今後の課題。

(4) 費用面での効果 (ICT機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ICT機器等の導入による費用の縮減	有
-------------------	---

ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額 (円)	
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当 (※1)	無
サービスの質の向上に係る取組への充当 (※2)	有

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

移動時間が減ることにより支援時間が増えより手厚く効率的な支援を行うことができるようになった。

--